

資料 2-1

学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議
(第6回)

2024年6月18日(火) 14:00-16:00

CO-SHA Platform活動報告について

「新時代の学びを実現する学校施設」を目指して施設整備を行う学校設置者や、校舎を最大限活用したい教職員、整備を行う民間業者など、みなさんと作り上げるプラットフォームです。

CO-SHA Platform

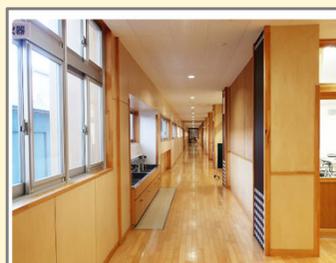
～ co-creation(共創), sharing ideas (共有) ～

I 新たな学校施設づくりのアイデア集

学校施設の整備・活用事例を
使いやすいコンテンツとして掲載します

全国の効果的な取組を今後も掲載増

- ✓ 事例ごとにPDFで出力可能
- ✓ ビジュアルや図面などの情報を充実
- ✓ 絞り込みに便利なタグ機能
- ✓ 学校設置者から掲載希望の事例を募集



快適性と省エネの両立を目指した、地域の防災拠点となる長寿命化改修

矢吹小学校(福島県西白河郡矢吹町)



II アドバイザーへの相談窓口

学校建築アドバイザーによる
助言や派遣を行う相談窓口を設置します

各分野の専門家への相談受付中



- ✓ 学校建築のエキスパート
- ✓ 改修実績のある実務経験者
- ✓ ICTを活用した新しい学びに関する有識者など

相談例：
改修による柔軟で創造的な
空間づくりのための
アドバイスがほしい

III イベント&コミュニティづくり

ワークショップの開催や
オンライン形式のイベントを行います

全国的な共創の実現に向けた取組

- ✓ ワークショップを通じた参加者相互の対話による課題抽出
- ✓ アドバイザーや学校設置者による座談会形式のオンラインイベントの開催

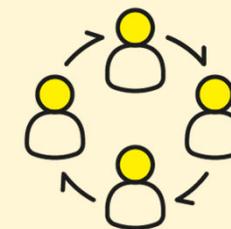


IV プロジェクト支援

新しい空間づくりに取り組むプロジェクトを募集して支援

課題解決に向けたプロジェクト

- ✓ 課題をかかえている学校等を対象に教室のレイアウトの更新等のプロジェクトに取り組む主体を支援（アドバイザーによる定期的なメンタリングによる伴走支援等）
- ✓ イベントにおいてプロジェクトの成果報告により取組を横展開



「新時代の学びを実現する学校施設」を目指して施設整備を行う学校設置者や、校舎を最大限活用したい教職員、整備を行う民間業者など、どなたでもご利用可能なプラットフォームです。

I

新たな学校施設づくり のアイデア集

IDEA

学校施設の整備・活用事例を
使いやすいコンテンツとして掲載します



新たな学校づくりのアイデア集

新しい時代の学びを実現する学校施設づくりのための効果的な取組事例やアイデアを紹介します(随時更新予定)



対話型設計で、学校機能の充実と地域の居場所となる教育環境を実現

陸前高田市立高田東中学校(岩手県 陸前高田市)

柔軟な学習空間 対話型設計 プロポーザル方式



学校統合による改修で、地域と一体となって教育環境を整備

新宮市立王子ヶ浜小学校(和歌山県 新宮市)

柔軟な学習空間 対話型設計 脱炭素 地域と連携 木質化

改修プロセス

地域住民と一体になって、エコ改修のマスタープランを策定

改修事業の検討にあたり、小学校教職員、PTA、父兄代表、町長部局、教育委員会からなる「黒小エコ改修委員会」を立ち上げ、具体的な計画を検討したほか、パブリックコメントにより町民意見を反映し、エコ改修の基本コンセプト、整備イメージを整理したマスタープランを策定。

工事期間中は、児童や保護者、教職員、学校関係者等の学校改修への関心を高めることや記憶づくりを狙いとし



- 現在31事例を掲載中ですが、引き続き掲載事例を追加します
- 今年度からは掲載希望のテーマや事例を募集します
- アイデア集はこちらからご覧ください
<https://www.mext.go.jp/co-sha/idea.html>



「新時代の学びを実現する学校施設」を目指して施設整備を行う学校設置者や、校舎を最大限活用したい教職員、整備を行う民間業者など、どなたでもご利用可能なプラットフォームです。

II

アドバイザーへの 相談窓口

学校建築アドバイザーによる助言や派遣
を行う相談窓口を設置します

相談の流れ



STEP.01
相談投稿フォームより、
相談内容をお送りください。



STEP.02
事務局がアドバイザーと
相談への対応について
協議します。



STEP.03
(メールによる回答の場合)
事務局より返答を
メールでお送りします。

相談投稿フォームを開く(現在休止中)

質問例 (他にも事例の紹介、計画・設計についても対応できます)

Q: 学校施設の耐震化等に関する相談はできますか?

A: 学校施設の耐震化等に関するお問い合わせは学校施設の耐震化等推進に関する相談窓口ページよりお願いいたします。

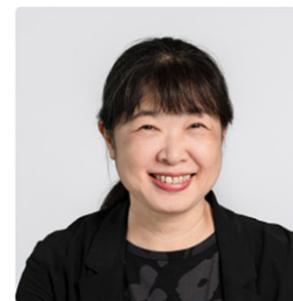
アドバイザー 一覧

相談にお答える「CO-SHAアドバイザー」のみなさんです。今後も少しずつ仲間を増やしていく予定です。



上野 淳

CO-SHAプラットフォーム スーパーバイザー /
東京都立大学 名誉教授



赤松 佳珠子

株式会社シーラカンスアンドアソシエイツ・代
表取締役 / 法政大学デザイン工学部・教授



伊香賀 俊治

慶應義塾大学 工学部 教授



伊藤 俊介

東京電機大学システムデザイン工学部 教授



垣野 義典

東京理科大学理工学部建築学科 教授



金子 嘉宏

東京学芸大学教育インキュベーションセンター
長

「新時代の学びを実現する学校施設」を目指して施設整備を行う学校設置者や、校舎を最大限活用したい教職員、整備を行う民間業者など、どなたでもご利用可能なプラットフォームです。

III

イベント& コミュニティづくり

ワークショップの開催や
プロジェクトチームの募集・活動支援を行います

実例から考える、新しい学びの形とこれからの学校施設づくり

あしたの学校づくりのためのプロジェクト構想ワークショップ レポート



令和4年度開催実績

- ・個別最適・協働的な学びの充実に向けた、柔軟で創造的な学習空間とは？
～あしたの学校づくりを探る、作り手・使い手の対話の場（オフライン形式） ほか

令和5年度開催実績

- ・「みんな」の学校：子どもの学びを主体に、教職員や地域住民などさまざまなプレイヤーが混じり合う理想的な空間とは？（オンライン形式）
- ・「わたしにもできた！」これからの学びの空間づくり～CO-SHAソウゾウ プロジェクト成果発表会～（オンライン形式） ほか

地域・学校環境ごとに異なる検討テーマの共有

今回のワークショップでは、3つの自治体から教育委員会の職員の方をゲストとしてお招きし、それぞれの地域に固有の課題を、ワークショップでの検討テーマとして提供していただきました。



埼玉県上尾市 教育委員会の矢部靖明さんは新しい学校づくりを担当されています。個別施設計画にて学校再編(案)も提示したと

「新時代の学びを実現する学校施設」を目指して施設整備を行う学校設置者や、校舎を最大限活用したい教職員、整備を行う民間業者など、どなたでもご利用可能なプラットフォームです。

IV

プロジェクト支援

新しい空間づくりに
取り組むプロジェクトを募集して支援

- ✓ 課題をかかえている学校等を対象に、教室のレイアウトの更新等のプロジェクトに取り組む主体を公募・審査のうえで、支援を実施（アドバイザーによる定期的なメンタリングによる伴走支援等）
- ✓ イベントにおいてプロジェクトの成果報告により取組を横展開

令和5年度採択実績

- ・「児童が探究し自律した学び手になるためのオープンスペース利活用空間設計」
- ・「学校図書館を拠点とした、オール湯沢・ラーニング commons の創造」
- ・「特別支援」という表現を「学びの多様化」へ転換する



CO-SHA ソウゾウ プロジェクト 最終報告書

令和6年2月5日

IMPULS合同会社

「人を想い我を磨く 湯沢町みんなの夢みる学校図書館プロジェクト」



▲子どもたちを交えた地域の検討

勉強会（左）、アイデアシートの分析（中央）、町の図書館の現地視察（右）等を通じて、具体的なイメージを共有しつつ空間の在り方を議論。「子どもの描く“夢みる図書館”」像をアップデートしつつ検討を進めていく。



▲検討を通じて実現した空間「どこでも図書館」

これまで活用されていなかった空間（左）を「どこでも図書館」（右）として活用。誰でもいつでも貸し出しができる図書スペースとして使えるようにした。

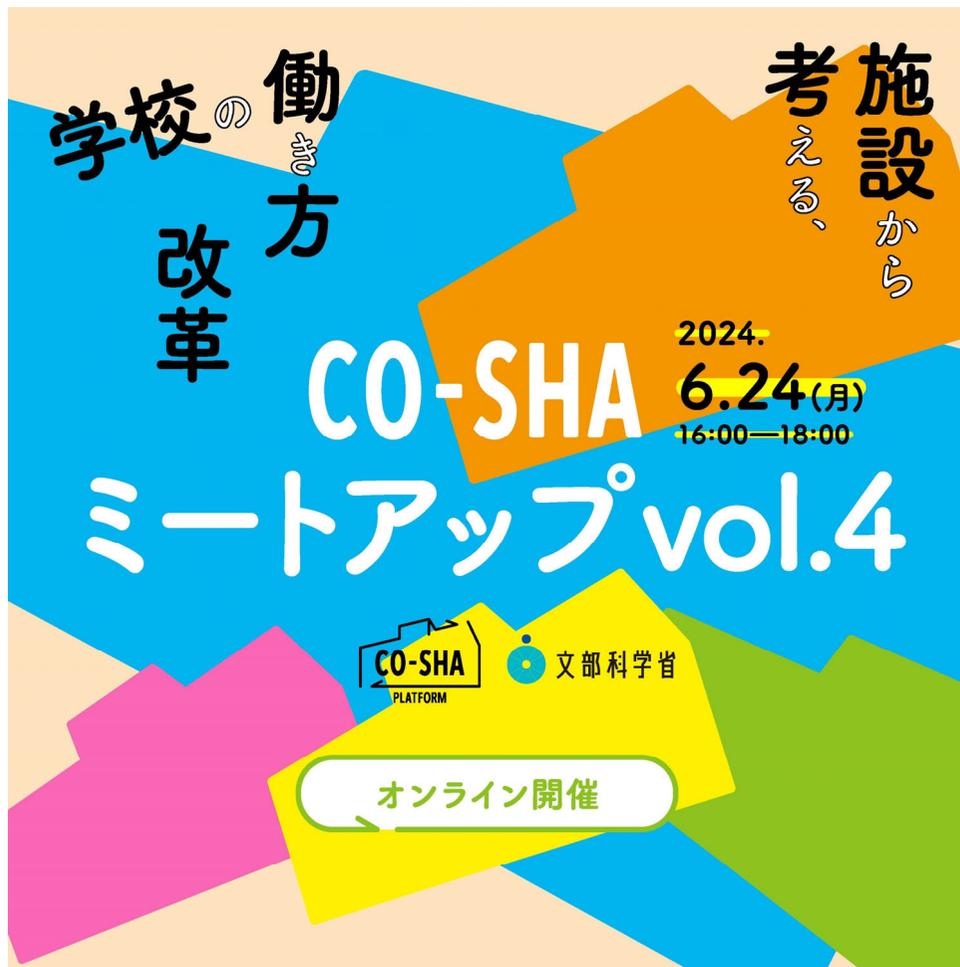
◀採択プロジェクト最終報告書（表紙）

（新潟県湯沢町 湯沢学園 学校図書館のラーニング commons 化の例）

試行錯誤の様子及び成果を最終報告書として公表。

他の学校でも主体的に検討が進められるよう、議論の過程も掲載しています。

CO-SHA ミートアップ vol.4-施設から考える、学校の働き方改革-



The poster features a colorful background with overlapping geometric shapes in shades of blue, orange, yellow, pink, and green. The text is arranged as follows:

- Top left: 学校の働き方改革 (School Work Style Reform)
- Top right: 施設から考える (Thinking from the Facility)
- Center: CO-SHA 2024. 6.24 (月) 16:00-18:00
- Bottom left: CO-SHA PLATFORM logo
- Bottom center: 文部科学省 (Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology)
- Bottom right: オンライン開催 (Online Event)

日時：2024年6月24日(月)16時00分-18時00分

場所：オンライン形式

参加費：無料

プログラム：

- ①職員室のフリーアドレス化や地域と連携した教育活動など、教員の働き方改革について施設面での取組事例を紹介
- ②オンライン上のグループで、トークの振り返りや参加者の方々が感じている課題をシェア
- ③昨年に引き続き実施する「CO-SHAソウゾウプロジェクト」内容やご応募方法についてご紹介

登壇者：柏市立富勢小学校, 校長 梅津 健志

板橋区教育委員会, 事務局指導室 指導室長 富田和己

東京学芸大学

教育インキュベーションセンター長 教授 金子 嘉宏

CO-SHA ソウゾウプロジェクト 「明日の校舎づくり」に挑戦するプロジェクトをサポート



様々な課題を抱えている学校設置者並びに教職員の方々を対象に、プロジェクトを立ち上げ、新たな一歩を踏み出し試行するための機会を提供するモデル事業。CO-SHA事務局からは技術的支援・財政的支援を実施。

公募期間 : ~2024年7月8日(月)12時締切

採択団体数: 3団体(予定)

募集テーマ: 「学校の改築」

「学校の改修」

「教室の空間レイアウトの更新」

「教師を取り巻く環境の整備」

といったものから応募者が自由に設定

公募対象者: ①国公立の小中学校、高校等

もしくはその設置者

② ①. 以外の国内の法人

(特定非営利活動法人、民間企業等)

活動期間 : ~2025年3月